

令和6年度（2024年度） 事業実績報告書

Ⅰ. 申請者の概要

申請者	団体名		八尾商工会議所
	代表者職・氏名		会頭 山口 孝満
	所在地		〒581-0006 大阪府八尾市清水町1-1-6
	担当者	職・氏名	中小企業相談所 支援グループ 主任 経営指導員 大西 真稔
		連絡先	TEL（直通）： 072-922-1181
Fax： 072-922-8828			
		E-mail： m-ohnishi@yaocci.or.jp	
①設立年月日			昭和24年5月16日
②職員数 （うち経営指導員数）			12名（経営指導員名） （令和7年3月31日現在）
③所管地域			八尾市
④管内事業所数			10,930（令和3年度経済センサス）
⑤管内小規模事業者数			7,630（令和3年度経済センサス）
⑥会員数（組織率）			3,515（令和6年7月31日現在）組織率：32.1% ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること
□主な事業概要（定款記載事項等）			
①商工会議所としての意見の公表、国会、行政庁等に具申・建議、行政庁等の諮問への答申			
②商工業に関する相談・指導、情報収集・提供、調査研究、講習会又は講演会の開催、施設の設置・維持・運用			
③商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査			
④輸出品の原産地証明			
⑤商工業に関する技術又は技能の普及又は検定			
⑥博覧会、見本市等の開催・あっせん			
⑦商事取引に関する仲介又はあっせん、紛争に関するあっせん、調停又は仲裁			
⑧商工業者の信用調査、観光事業の改善発達			
⑨社会一般の福祉の増進に資する事業			
⑩行政庁から委託を受けた事務			
⑪上記のほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業			

(1) 事業の目標

- ・アフターコロナをむかえコロナ前と同水準まで業績が戻っていない事業者に対して、新たな取り組みや経営力強化を行うために経営相談支援事業を強化する。
- ・事業計画書策定など、経営指導員と専門家が連携しながら支援を進める。
- ・事業遂行にあたり、経営指導員間の情報共有や専門家その他各支援機関との連携を図り、経営改善の成果向上へ繋げる。
- ・地域資源を活用した商品や地域資源の知名度向上・魅力向上に取り組み、地域活性化へ繋げる。
- ・製造業の人材育成を目的に、技術力の向上を行い、経営力の強化に繋げる。
- ・階層別研修を実施し、人材育成を通じた組織力強化へ繋げる。
- ・女性の働く環境整備や採用方法、女性活躍推進法に取り組む企業の事例紹介を通じて企業における女性従業員の活躍推進に取り組む。
- ・高年齢者雇用におけるメリットや雇用する場合の課題（評価制度や労働環境など）の解消を行い、社内体制の構築、各種制度を理解し、高年齢社員の定着につなげる。
- ・事業承継支援やBCP策定支援を通じ、企業活動の維持・強化へ繋げる。
- ・中小企業の脱炭素へ向けた取り組み支援することで、取引機会の促進を行う。
- ・各支援機関等と連携し、求人・求職者との就職マッチング支援を行い、人材確保を通じた企業競争力の維持・強化へ繋げる。
- ・ものづくり企業のビジネスマッチング促進として、展示商談会を行うことで、販路拡大や地域産業のPRに繋げる。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点**【相談事業】**

経営指導員による経営相談支援事業では、巡回、窓口による相談事業を推進し、中小事業者が抱える課題をの抽出と分析を行い、適切なサービス提案、経営支援が行えるよう努め、令和6年度は、経営改善に向け、(株)日本政策金融公庫と連携した資金調達支援や生産性向上を目的としたIT支援、事業継続を目的とした事業承継、BCP支援を行い、脱炭素などの施策提供を中心に行った。全体の相談件数としては、減少傾向にあり、主な要因としては、インボイス関連の相談などが減少したことと考える。

【専門相談】

経営指導員だけでは単独支援が困難な高度で専門的な課題については、専門家と連携し事業者の抱える課題解決に努めた。

令和6年度は、支援事業所の課題解決に向けた経営専門相談を強化した。また、昨年に引き続き、販売促進や生産性向上を目的に、IT支援を行い、専門家と連携しながらアドバイスをを行うなど、実装化に向けた支援を行った。他に、事業継続計画（BCP）の策定支援では、専門家の助言をいただきながら策定支援を進め、事業承継支援についても引き続き、専門家と同行するなど、事業者支援を行う当所経営指導員の資質向上にもつながった。

【地域活性化事業】

事業者が抱える課題の解決に向けた支援事業を推し進めた。

令和6年度は「ビジネスチャンス発掘フェア2024」をマイドームおおさかで2日間にわたり開催し、自社製品や技術、サービス等の情報発信支援や新たな販路開拓先支援を目的に、近隣商工会議所等との広域連携による合同展示商談会として、優れた企業群のアピールを進め、販路支援と共に地域産業の認知度向上に努めた。商業支援としては、地域資源を活用した八尾ブランド商品の販路支援に努めた。

また、事業承継、BCP、ものづくり技術、階層別人材育成、多様な人材の雇用方法、カーボンニュートラルの取り組みなど、多くの事業者が抱える課題の解決に資するセミナーを開催するとともに、大阪府の支援施策の周知や活用促進も積極的に推進。

人材確保支援として、卒業予定の学生や障がい者・中高年齢層も含めた幅広い層の求職者への合同就職面接会を実施し、求職者への側面支援として推し進めた。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

小規模事業者が抱える経営課題の把握を行い、課題解決を行うことにより、持続的な成長に繋げることができたと考える。持続的な成長に繋げるために、既存取引の維持だけでなく、既存取引を基盤とした新たな販路開拓も必要であり、積極的な自社技術や製品等のPRを行い、新規取引先の開拓を行うことができた。また、経営環境の変化が目まぐるしいなか、人材確保や人材育成による生産性向上や各種事業の遂行により地域経済の活性化に繋がったと考える。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

・工業については、高度な技術を有する事業所が多数あるが、知名度という点ではまだ不十分である。大阪府内において、堺市、大阪市、東大阪市に次ぐ第4位の生産力（製造品出荷額）を誇るものの、他3都市に比べ、市としての全国的な知名度は低いと言わざるを得ず、八尾市のものづくり産業全体をPRする必要である。また、当所が実施している景気動向調査においても、経営課題として「人材確保・人材育成」を挙げる声が30.3%と最も高く、生産力を維持していくにあたって大きな課題であり、人材確保の機会提供やものづくり技術者の技能伝承の支援などにも取り組んでいく必要がある。ほかにも環境改善に対応するためのカーボンニュートラルへの取り組みも重要な項目である。そのような中、八尾市においても将来の人口減少は避けることができない見通しであるため、人材確保、人材育成の支援を行いながら、デジタル導入を通じた業務の効率化、生産性向上の支援も必要である。

・商業については、大型商業施設が立地する近鉄八尾周辺が中心地であり、にぎわいを見せているが、その他の地域においては、郊外型の大型店などが増加する一方、商店経営者の高齢化、空き店舗の増加、人通りの減少など活気の低下と人口減少による購買力低下が懸念されるなかで、市外からの買い物客取り込みも重要な課題であるが、インバウンドを含む観光産業が育っておらず、市内産業の観光産業の育成、地域資源情報の発信に取り組んでいかなければならない。

(5) 次年度の取り組み

・2024年10月に実施した第2回の会員調査で、コロナ禍前に売上が戻っている事業所が62.7%（前回差+7.9%）で戻っていない事業所が37.3%（前回差▲7.9%）とやや改善傾向にはあるものの、未だ約40%の事業所が厳しい状態が続いているため、事業継続、経営改善が地域経済の活力向上に重要であり、経営力の強化を行うための技術力の向上、従業員の人材育成、人材確保、カーボンニュートラル、創業、事業承継、BCPは、地域経済を支える重点課題であり、確実に推し進める必要がある。

「将来の企業活力の維持・向上に向けた支援」

- ・強い組織構築に向けた従業員個々の能力向上や人材定着支援に取り組む。
- ・雇用環境の適正化に伴い、従業員のモチベーションを向上し、良質な人材を確保することで中小企業の経営の安定を図り、労務トラブルの抑制に繋げる支援を行う。
- ・市内事業所が外国人労働者を雇用するにあたって、正しい関連制度の認識を持ち、受け入れ態勢を整備し、外国人労働者が職場に定着し、本来の力を発揮できる環境を整える支援を行う。
- ・女性活躍をテーマに社内環境の整備を含む働く女性のキャリアアップ支援を行う。
- ・高年齢の従業員の定着や雇用促進を行うにあたって、高年齢者を雇用するメリットや雇用する場合の課題（評価制度や労働環境など）の解消に繋げていただくための支援を行う。
- ・後継者不在や後継者育成など様々な課題を抱える企業に対し、支援機関と連携し課題解決に取り組む。
- ・八尾市や近隣支援機関等と連携し求人求職マッチング事業を実施し、雇用創出の機会提供を通じて人材不足解消に向けた支援に引き続き取り組む。
- ・BCP策定を推進し、大規模災害等発生時の事業継続が図られるよう支援に取り組む。

「販路拡大、地域資源の知名度や魅力向上」

- ・ビジネスマッチングの機会創出として、周辺地域の商工会議所・商工会等と連携し合同展示商談会を開催する。
- ・地域資源を活かした商材について、消費者が多数来場する商業施設や八尾市内イベントにおいて周知活動に取り組み、認知度向上と共に、今後の販売促進へ繋げる。

「カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた支援」

- ・中小企業において、脱炭素経営を促進することで取引機会の確保ができる要因にもなるため、中小企業の脱炭素へ向けた取り組みの支援を行う。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 八尾商工会議所

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

小規模事業者の相談ニーズが高い金融支援については、円安、物価高騰による仕入資金や諸経費支払いのための手元資金確保など、新たな経営課題の解決に向けた支援を行った。IT支援については、事業者のデジタル化による販売促進や生産性向上のため施策普及を通じた実装化に向けての支援、アドバイスを行った。さらに労務支援として就業規則の作成や見直しなどを中心に支援を行うとともに、事業承継の課題を抱える事業者へは事業承継の専門家と連携し、課題解決に向けて支援を行った。また、BCP策定支援として簡易版BCP「これだけはシート」の普及と策定に向けたアドバイスを行うとともに、BCP策定の必要性について、情報提供を行った。他には、コスト削減を目的にカーボンニュートラルの取組みを後押しするため、CO2排出量の算定や削減方法についての支援を進めた。

【代表事例】

八尾市内で建設業（鳶工事一式）を主業としている会社で、資材や人件費、外注費の高騰の影響で資金繰りを圧迫している状態であった。資金繰りの安定化を図るため、金融支援によるマル経融資の活用を提案し、資金調達を行ったことで、資金繰りが改善し、受注の増加に対応している。また、本社事務所の移転を検討しており、物件の購入費用や改修費用の資金調達を行うため、民間金融機関を紹介し、資金を確保。物件改修を行うための、業者紹介も行い、改修工事を行った。今回の支援を通じ、受注増加に伴う資金の確保と新たな本社物件を取得することができ、さらに今まで民間金融機関との取引を行っていたいなかったが、メインバンクとして、民間金融機関と取引を開始することができた。今後は、事後フォローを通じ、新たな経営課題の解決に向け、経営改善を目的に、民間金融機関と連携した伴走支援を行う。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	359	364	101.4%	3
支援機関等へのつなぎ	支援数	55	63	114.5%	5
金融支援（紹介型）	支援数	40	47	117.5%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	60	68	113.3%	2
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	0		
資金繰り計画作成支援	事業所	6	9	150.0%	
記帳支援	事業所	18	23	127.8%	5
労務支援	支援数	31	24	77.4%	4
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		
マーケティング力向上支援	事業所	27	9	33.3%	2
販路開拓支援	支援数	2	5	250.0%	
事業計画作成支援	支援数	21	22	104.8%	2
創業支援	事業所	33	28	84.8%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	18	21	116.7%	3
コスト削減計画作成支援	事業所	15	18	120.0%	3
財務分析支援	事業所	1	1	100.0%	
5S支援	事業所	0	0		
IT化支援	事業所	22	23	104.5%	3
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		
事業承継支援	事業所	15	14	93.3%	2
災害時対応支援	事業所	0	0		
フォローアップ支援	事業所	75	49	65.3%	2
結果報告	事業所	419	451	107.6%	4

Ⅱ 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

経営指導員による巡回及び窓口相談支援の中で、高度な専門的知識を必要とする課題・問題については、経営指導員が前捌きとして問題・課題の切り分けを行い、専門家と連携することで、より効果の高い相談・支援を行なった。個別に相談するには敷居が高いイメージのある各分野の専門家を活用することで、事業者との今後の信頼関係構築の一助になっている。また税務手続き等についても小規模事業者にとって重要なウェイトを占め、上期源泉所得税納付や年末調整、所得税・消費税の確定申告など関連する諸手続きを支援。数値から見える経営状況の把握や適切な諸手続きを通じて、納税意識や適正な申告の啓発にも役立った。ＩＴについても、セミナー等を複数回開催し、デジタル化による生産性向上や販路開拓を行うための取組みを支援した。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	継続	相談件数	9	14	155.6%	5
税務相談	継続	相談件数	350	477	136.3%	4
金融相談	継続	相談件数	0	0		
労務相談	継続	相談件数	14	20	142.9%	4
その他相談	継続	相談件数	207	130	62.8%	2

4. 地域活性化事業

八尾商工会議所

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>多くの事業者の課題として挙げられる販路開拓、人材確保、人材育成などの経営課題の解決に向け支援事業を進めた。</p> <p>八尾地域企業のPRと販路開拓支援、地域密着型小売店舗の支援を中心に進め、八尾の地域資源を活用した商品のブランド化を推し進めた。また、大型展示商談会の開催を通じて、大阪府内の出展企業のビジネスマッチング支援に資することができ、新製品や技術のPR、出展者同士の繋がりや他社製品等の情報収集等にも寄与することができたと考え</p> <p>他に、万博関連の需要を域内企業に取り込むことを目的に、万博商談もずやんモールの情報発信と具体的な取組みの支援を行った。</p> <p>また、事業承継、BCP、ものづくり技術、階層別人材育成、多様な人材の雇用方法、カーボンニュートラルの取組みなど、多くの事業者が抱える課題の解決に資するセミナーを開催するとともに、大阪府の支援施策の周知や活用促進も積極的に押し進めた。</p> <p>人材確保支援として、合同就職面接会を実施し、求職者への支援を行い、求職者の採用率向上に努めるとともに、外国人材や女性従業員や高齢者の活躍推進し、多様な人材確保に向けた情報提供を行った。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	地域資源発掘ブランド化推進事業	20	24.0	120.0%	91.7	販売会に出店したことにより売上が増加した事業所数	12	15	125.0%	5
○	ものづくり技術向上支援事業	67	70.0	104.5%	97.1	(地独)大阪産業技術研究所を利用したいという事業所	20	37	185.0%	4
○	早期離職防止・定着支援事業	49	61.0	124.5%	90.8	従業員の早期離職防止・定着に向けた取り組み意欲が向上した事業所の割合(%)	80	86	107.5%	5
○	労務管理・育成支援事業	20	22.5	112.5%	100	雇用管理のポイントに対する取り組み意欲の向上割合(%)	80	100	125.0%	4
○	若手従業員育成支援事業	26	26.0	100.0%	96	セミナー内容を踏まえた参加者の意識の変化(行動意欲が向上した人の割合)	80	94.1	117.6%	4
○	グローバル人材確保・定着支援事業	20	20.5	102.5%	100	外国人労働者受け入れに伴う自社の職場環境の整備を行う意欲が向上した事業所の割合(%)	80	73.1	91.4%	4
○	女性従業員活躍推進支援事業	20	20.0	100.0%	95	女性従業員が活躍し、働きやすい環境整備を行う意欲向上割合(%)	80	90	112.5%	4
○	中小企業に対する高年齢者雇用サポート事業	20	20.0	100.0%	100	高年齢社員が働きやすい環境整備を行う意欲向上割合(%)	80	85	106.3%	4
○	事業承継支援事業	15	21.0	140.0%	90	今後、事業承継を意識した経営に取り組む割合	80	90	112.5%	4
○	事業継続計画(BCP)策定支援事業	20	21.0	105.0%	100	BCPセミナー当日、簡易版BCPを策定した企業数	20	20	100.0%	4
○	脱炭素経営へ向けた取り組み支援事業	30	35.5	118.3%	100	脱炭素・カーボンニュートラルへの取り組みを着手した企業数	10	10	100.0%	5
○	万博関連事業受注者登録支援事業	20	23.5	117.5%	86.4	「万博関連事業受注者登録システム」の活用法やメリットに関しての理解度	80	100	125.0%	3
○	求人確保支援事業	62	67.0	108.1%	100	求人事業所と求職者とのマッチング数	5	15	300.0%	4
(2) 広域事業(幹事事業のみ)										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	

	ビジネスチャンス発掘フェア2024	141	155	109.9%	86.4	名刺交換等をはじめ、商談、紹介などの引合件数	10,857	10,465	96.4%	3

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業

地域活性化事業実績報告書

八尾商工会議所

事業名		地域資源発掘ブランド化推進事業							
想定する実施期間		2011 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	①2006年4月からスタートした「地域団体商標制度」、2007年6月施行の「地域資源法（中小企業地域産業資源活用促進法）」以降から、全国各地では地域資源を活用したブランディングの取り組みが活発化している。地域資源を活用した新たな商品・サービスを開発することで、取引や雇用を拡大し、地域経済を活性化することを目的としている。 ②一方、八尾市内においても八尾枝豆や若ごぼう等の特産品はあるものの、八尾市を代表し全国へ発信できる商品がまだ数少ないのが現状である。 ③八尾市内を代表するような地域資源を活かした新たな特産品を「八尾コレクション」として認定し、お土産やギフトとして販売できる商品を開発・発掘する。（2～3年毎にセレクションを実施） ④八尾の魅力発信を目的に、八尾コレクション受賞店舗を中心とした市内店舗等の売上拡大に向けたPR支援を実施する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	・飲食店（639事業所）・食品関連製造小売業（242事業所）計881事業所 ・地域資源を活用した商品を製造・販売している店舗 29店舗							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	八尾市内の地域資源・特産を活用した商品開発を行っている小売店や飲食店はあるものの、自社のブランド化につながっていない。「八尾コレクション」として商品の認定を行うことで、各社商品のブランド化を図り、企業としての魅力向上を行う必要がある。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府経営支援課との連携。大阪代表商品選抜・販促事業における大阪代表商品ラインナップへの選考へ向けて八尾コレクション受賞店舗に対し、商品の磨き上げやPR方法について支援を行った。						
②広域連携									
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	③市町村連携	八尾市魅力創造部 観光・文化財課や八尾市観光協会との連携。八尾市のPRに際し、イベント内での八尾コレクション受賞商品販売会の実施や商品紹介等を行った。						
		④相談相乗							
	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	24.0	支援実績率	120.0%	満足率	91.7%
	成果の代表事例	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	①ビジネスチャンス発掘フェア 出店5店舗 ②大型商業施設販売会 5店舗、6店舗出店 計11店舗 ③地域代表（ブランド）商品の選定 8店舗						
八尾コレクションに取り組むことで、支援対象企業が地場地域資源や八尾ブランドを認識するようになり、地域資源を活用した商品の販売会を開催することで、販路開拓につながった。また、大阪・関西万博開催に向けた大阪府のプロジェクトである、「大阪代表商品事業」に向けて商品の魅力確認や選定に向けた磨き上げを意識したことで、商品の味だけでなく、パッケージにも目を向ける契機となった。									
代表指標			販売会に出店したことにより売上が増加した事業所数						
数値目標		12社		実績数値	15社		目標達成度	125.0%	
その他目標値の実績	成果の代表事例	16社中15社が売上向上と回答。 販売会を中心に、八尾コレクション受賞商品の販売が増加。特に2022年度のグランプリ商品の「八尾河内音頭 枝豆どら焼き」については年間1万個を販売するようになり、同社の主力商品となっている。							
	目標値（計画）	5,000名		目標値（実績）	4,865名		目標達成度	97.3%	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	●販売会等実施によるPR数 ・大型商業施設販売会① PR数2,041名・ビジネスチャンス発掘フェア PR数753名 ・大型商業施設販売会② PR数2,071名 計4,865名							
		2024年に八尾市内大型商業施設にて実施した知名度アンケートでは、43%程度が知っているという回答。徐々に知名度は向上しているものの、引き続き周知活動が必要である。一方で、市外に向けても発信していく必要がある。八尾市内外で販売会を中心とした周知活動を継続して行うことで、大阪府内全域でのブランド周知の底上げが必要である。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数（計画）	15.0	支援企業数（実績）	16.0	支援実績率	106.7%	満足率	93.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	販売会への出店 ①ビジネスチャンス発掘フェア 出店5店舗 ②大型商業施設販売会 出店5店舗 ③大型商業施設販売会 出店6店舗 計16店舗							
		指標	販売会に出店したことにより売上が増加した事業所数						
		数値目標	12	実績数値	15	目標達成度	125.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）	5,000名	目標値（実績）	4,865名	目標達成度	97.3%		
		●販売会等実施によるPR数 ・大型商業施設販売会① PR数2,041名・ビジネスチャンス発掘フェア PR数753名 ・大型商業施設販売会② PR数2,071名 計4,865名							
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数（計画）	5.0	支援企業数（実績）	8.0	支援実績率	160.0%	満足率	87.5%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	大阪代表商品選抜・販促事業における八尾コレクション受賞商品の登録・大阪代表商品ラインナップでの選考に向けた支援数							
		指標	市外・府外への商品販売へ意欲が増した企業						
		数値目標	3	実績数値	4	目標達成度	133.3%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書									
八尾商工会議所									
事業名		ものづくり技術向上支援事業							
想定する実施期間		2011 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	2021年度中小企業白書によると「製造業」において人員が「不足」している企業が3割程度存在するとなっており、非正規従業員等をより積極的に活用しなければいけないことが予想され、内部で教育する時間を確保することは非常に難しいのではないかと推測されるため、当所にて教育の場を設ける。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	・八尾市内製造業者2,731社 ・管内中小・小規模事業者の内従業員教育及び技術力向上を目指している事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	大阪産業技術研究所の研究員を講師として、ものづくり技術向上を目的としたテーマを設定してセミナーを開催。 ①第1回ものづくりセミナー 〔テーマ〕技術の力が経営と強くする！溶接加工の基礎講座 〔日 時〕8月27日（火）18：00～20：00 〔場 所〕八尾商工会議所 3階 大ホール1 〔内 容〕溶接加工の基礎 〔参加者〕22社35名（支援企業数26.5社） ②第2回ものづくりセミナー 〔テーマ〕技術の力が経営と強くする！強度試験の基礎講座 〔日 時〕9月24日（火）18：00～20：00 〔場 所〕八尾商工会議所 3階 大ホール1 〔内 容〕強度試験の基礎 〔参加者〕20社32名（支援企業数23.5社） ③第3回ものづくりセミナー 〔テーマ〕技術の力が経営と強くする！金属材料の基礎講座 〔日 時〕10月4日（金）18：00～20：00 〔場 所〕八尾商工会議所 3階 大ホール1 〔内 容〕金属材料の基礎 〔参加者〕16社35名（支援企業数20社）							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府ものづくり支援課、（地独）大阪産業技術研究所と連携し、事業の企画・テーマ設定・運営等を行った。また、同研究所の利用促進に向けた周知や情報提供を行い、企業の橋渡しを進めた。						
事業全体の実績／目標	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	67.0	総支援企業数(実績)	70.0	支援実績率	104.5%	満足率	97.1%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	・溶接加工は、新たなテーマであったが、参加者数からニーズが高かったことが伺える。また、参加者の中から、溶接加工を行う上での注意点などを知ることができてよかったなどの声があり、一定の人材育成が図れたと考える。 ・強度試験は過去にも取り上げることがあるテーマであったが、過去の参加者数より増加した。近年では製品の品質管理がより厳しさを増していることから、強度試験による品質管理の重要性が高まっていることが伺えた。 ・金属材料や加工に関するテーマは、過去にも数回取り上げこともあり、ニーズは高い。また、金属を取り扱う管内の製造業者の母数も多いことから、継続して人材育成を目的に情報提供する必要がある。							
		代表指標	（地独）大阪産業技術研究所を利用したいという事業所						
		数値目標	20社	実績数値	37社	目標達成度	185.0%		

<p> 標 達 成 度 </p>	<p> 成果の代表事例 </p>	<p> ・1社から複数名の従業員の参加を促している事業所もあり、人材育成を目的として、当セミナーを活用している事業所が増えている。 ・金属材料に関するセミナーを受講し、知識構築を行うことができた事業所から、今後のセミナーテーマの要望などの声をいただき、当セミナーの重要性について把握できた。 </p>					
	<p> その他目標値の実績 </p>	<p> 目標値 (計画) </p>		<p> 目標値 (実績) </p>		<p> 目標達成度 </p>	
<p> 実 施 結 果 </p>	<p> 課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか) </p>	<p> 例年のものづくりセミナーは、専門的な要素が強いセミナー内容になることが多いが、今年度は現場目線の加工や材料の取扱方法等の内容に変更してことで、満足度を確保することができた。人材育成を目的とする中で、主に入門編の内容に設定し、一部に専門的な内容を織り交ぜながら、従業員でも理解できる内容を検討する必要がある。 </p>					

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書			
八尾商工会議所			
事業名		早期離職防止・定着支援事業	
想定する実施期間		2015 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	若手社員の早期離職防止を目的に、管理職・中堅社員を対象とした教育体制やマネジメント手法、コミュニケーションの構築方法を強化し、組織の基盤強化に繋げることを目的としたセミナーを開催する。	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内小規模事業者7,630事業所（全業種） 従業員の早期離職問題や早期離職に係る課題解決に向けて悩んでいる事業者をはじめ、離職防止や階層別 従業員研修に関心を持つ事業者。	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【中堅社員向けスキル向上セミナー】 【日 時】2024年9月20日（金）、9月27日（金）各14時00分～16時30分 【事業】中堅社員向けスキル向上セミナー（全2日中2日間） ～意識が変われば、仕事の質も高まる～ 【内 容】1日目：中堅社員が求められていること、上司や若手社員の考え方を理解する 中堅社員が取り組むべき上司や部下との信頼関係構築の手法 2日目：人材育成のポイント 中堅社員が実践する生産性向上のポイント 【講師】（株）ヴェイン 【参加者】1日目 22社26名 2日目 20社24名 【支援企業数】26社 【管理職向け組織力強化セミナー】 【日 時】2024年8月30日（金）、9月6日（金）各18時00分～20時30分 【事業】管理職向け組織力強化セミナー（全2日中2日間） ～意識を変えると経営が変わる！！～ ※若手社員の早期離職防止と定着が目的 【内 容】1日目：管理職に求められること、中堅・若手社員の考え方を学ぶ 定着する人材を採用するポイントと手法 管理職として必要な役割とは ～組織目標設定から達成に向けた方策と役割～ 2日目：管理職として必要な役割とは ・メンバーの指導・育成のために必要な成長タイプの見分け方と指導方法 ・良好な人間関係を構築するための職場環境づくり ・若手社員がストレスを抱える要因とその解消方法 【講師】（株）ヴェイン 【参加者】1日目：28社42名 2日目：25社40名 2024年度は、「意識を変える」をテーマとし、集客した結果、前年度の2倍の参加者を集客することができた。 【支援企業数】35社	
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>	
		①府施策連携	OSAKAしごとフィールドの事業紹介については、セミナーの中に事業説明時間を設け、メールマガジンにて広報を行った。また、セミナー実施後のアンケートについて、大阪府が作成した質問項目を含めて実施した。
		②広域連携	
		③市町村連携	
		④相談相乗	

事業 全体 の 実績 ／ 目標 達成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	49.0	総支援企業 数(実績)	61.0	支援 実績率	124.5%	満足率	90.8%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	セミナーを受けた後の意識の変化（セミナー内容を踏まえた参加者の意識の変化（行動意欲が向上した人の割合））として、86.0%と回答。 ※管理職セミナー：86.0%、中堅社員セミナー：86.35% 参加者の声 ・人の習熟度によってアプローチの仕方を考えるということは勉強になりました。 ・行動にフォーカスして叱ることの重要性に気付いた。 ・ソーシャルタイプを初めて知った事、ロジカルな会話方を知れた事がとても良かった。 ・意識を変えることで自分の成長に繋がることを知れた。							
		代表指標	従業員の早期離職防止・定着に向けた取り組み意欲が向上した事業所の割合（%）						
		数値目標	80%		実績数値	86.0%		目標達成度	107.5%
	成果の代表事例	管理職セミナー・中堅社員セミナーどちらのセミナーも「意識」を変えることが仕事の質を高めるというテーマ設定をしたことで、中堅社員セミナーの参加者数は例年同様ではあったが、管理職セミナーの参加者は例年の倍の参加者の募集ができた。 管理職セミナー受講後、3ヵ月後に業務遂行および社内コミュニケーションなど業務上の意識変化による行動変容をヒアリングし、コミュニケーション面では95%が行動が変化したと回答があった。							
その他目標値の実績	目標値 (計画)			目標値 (実績)			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	管理職セミナー受講後、3ヵ月後に業務遂行および社内コミュニケーションなど業務上の意識変化による行動変容をヒアリングし、コミュニケーション面では95%が行動が変化したと回答があったものの、業務遂行面での行動の変化は13%に留まった。 仕事の進め方などは事業所毎に違うが、考え方は共通する部分も多いため、業務遂行面の意識に関しても変化を促せるように進めていく。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	104.0%	満足率	91.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	中堅社員としての役割、上司と部下とのコミュニケーションの取り方などをはじめ、2024年度は本人の仕事に対しての「意識」の変化の重要性についても説明を行い、若手社員早期離職の防止に関する取組みについて学ぶことができた。							
		指標	従業員の早期離職防止・定着に向けた取り組み意欲が向上した事業所の割合（％）						
	数値目標	80%		実績数値	86.4%		目標達成度	108.0%	
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	24.0	支援企業数(実績)	35.0	支援実績率	145.8%	満足率	90.5%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	管理職としての役割、上司と部下とのコミュニケーションの取り方などをはじめ、2024年度は本人の仕事に対しての「意識」の変化の重要性についても説明を行い、若手社員早期離職の防止に関する取組みについて学ぶことができた。							
		指標	従業員の早期離職防止・定着に向けた取り組み意欲が向上した事業所の割合（％）						
	数値目標	80%		実績数値	86.0%		目標達成度	107.5%	
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業										地域活性化事業実績報告書	
八尾商工会議所											
事業名		労務管理・育成支援事業									
想定する実施期間		2015 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること									
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	2019年4月より順次施行されている働き方改革関連法において、年次有給休暇の取得義務、時間外労働の上限規制、同一賃金同一労働等、様々な法令の成立に伴い、企業として変化に対応し適正な雇用管理を行う必要がある。また、近年増加傾向にある労務トラブル、労働者の権利意識の向上に伴い法令の遵守が曖昧では済まされなくなってきている。トラブルを未然に防ぐにはまず、労働法規や保険制度の理解が欠かせない。 そこで、労働法改正を踏まえた雇用管理のポイントを抑え、賃金・労働条件・処遇改善等の事例を紹介し、実践することで未然にトラブルを防止し、職場環境の整備や組織基盤の強化を図る。労働法改正の時期が4月が多いことから、事前に法改正の内容を把握いただくために2月頃に開催を行う。									
	支援する対象 （業種・事業所数等）	①業種・事業所数 小規模事業者7,630事業所（全業種） ②主なターゲット 従業員を雇用している事業所									
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	雇用環境の適正化に伴い、従業員のモチベーションを向上し、良質な人材を確保することで中小企業の経営の安定を図り、労務トラブルの抑制に繋げる手法を学ぶ。また、労働法改正に伴う雇用管理のポイントを抑え、実践することで職場環境の整備を行うセミナーを開催した。 【日 時】2025年2月27日（木） 14：00～16：30 【場 所】八尾商工会議所 大ホール 【内 容】最新の労働法改正・トピックス ・社会保険の年収の壁に対する事前準備 ・入退社時や退職に繋がりやすい労使トラブルについて ・労働条件の相違などによる入退社時の労使トラブル ・ハラスメントなど実際に退職に繋がりやすい事例と対策 【講 師】社会保険労務士法人ダブルリード 【参加者数】21社24名 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>									
		①府施策連携	事業実施にあたっては、大阪府労働環境課と連携し、中河内地域労働ネットワーク事業として実施。また、参加企業に対して同ネットワーク構成団体が実施する各種支援事業をPRし、誘導することで人材の定着・育成を支援する。 また、参加企業に対し、府広報物の配布や府施策事業の説明機会を設け、利用促進を行う。								
		②広域連携									
	③市町村連携										
	④相談相乗										
事業全体の実績／目標	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	22.5	支援実績率	112.5%	満足率	100.0%		
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	雇用管理のポイントに対する取り組み意欲の向上割合（％）が向上した・やや向上したと全社が回答。 昨今の労働法の改正内容や労使トラブルの事例等、企業が事前に把握し整備しておくべき事項について学ぶことができた。 ●参加者の声 ・法改正の聞きたいポイントを学べた。 ・実際にあった労使トラブルがリアルに聞けた事が良かった。 ・講師の方の知識を含めてお話しいただけたので、インターネットでの検索からでは得られない話が聞けた。									
		代表指標	雇用管理のポイントに対する取り組み意欲の向上割合（％）								
		数値目標	80%		実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%			

標 達 成 度	成果の代表事例	<p>法改正の情報に関して本セミナーで情報収集されている方も多く、参加者のニーズがある。 労使トラブルについて、講師の実体験を踏まえた事例とその解決法の説明により信憑性も高く、具体的な話を聞けて満足と回答した声が多く上がった。 就業規則の見直しに関する個別相談希望が4件（内3件を実施、1件は見送り）。</p>				
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度
実 施 結 果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>アンケート結果からも法改正の情報収集のニーズは高いが、人事評価制度の導入・改定や多様な人材の高年齢者の雇用管理などに課題を感じている事業所が多い。 上記の課題や実際の雇用管理のポイントなど、労務知識を収集できる場として、本セミナーで雇用・労働に関する情報提供と意識啓発を行うためのセミナーとしてカリキュラムを組んでいく必要がある。</p>				

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業										地域活性化事業実績報告書		
八尾商工会議所												
事業名		若手従業員育成支援事業										
想定する実施期間		2015 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること										
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	3割以上の若手社員が就職後3年以内に退職する早期離職が問題となっており、若手社員は十分なキャリアを積まずに退職することで、正社員として再雇用されることが難しくなり、非正規雇用の増加に繋がる悪循環が生まれている。事業所内で研修や教育を行うも、業務手法の内容が多くなり、業務の考え方・進め方といった内容は少ない。 そのため、若手社員に対し仕事の考え方や進め方といった研修を実施。主な方向性として、経営者が若手社員に期待していることを理解し、経営者と若手社員の考え方の溝を埋め、業務の目的、自身の役割も理解することで生産性の向上を図るとともに、業務に対するモチベーションも向上し、若手社員の早期離職の抑制につなげる。 また、従業員数の少ない事業所においては同世代の従業員が少なく、若年者の同じ悩みを共有する者がいないため離職に繋がるケースもある。 本セミナーでは、グループディスカッションを取り入れ、同世代・同じ悩みを共有できる人材との交流を深めることにより、モチベーションを高めていく。										
	支援する対象 （業種・事業所数等）	市内小規模事業者7,630事業所（全業種）の、若年者の早期離職の問題や課題解決に向けて悩んでいる事業 者をはじめ、若年者の早期離職防止や階層別従業員研修に関心を持つ事業者。										
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日 時】2024年10月11日（金）18日（金）各日14時00分～ 【事業】若手社員早期戦力化セミナー 【テーマ】意識が高まれば、仕事の質も変わる！ 【内容】1日目：若手社員として求められていること/若手社員の意識を変える手法 2日目：仕事を円滑に進めるための手法/若手社員の仕事の質の高め方 【講師】（株）インスパイアーズ 【参加者数】1日目：22社24名 2日目：19社23名 【支援企業数】26社 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞										
	①府施策連携	セミナー参加企業をOSAKAしごとフィールドに誘導し登録を促した。 セミナー実行については、大阪府と協議しながら企画運営を行った。 OSAKAしごとフィールドの事業紹介については、セミナーの中に事業説明時間を設け、メールマガジンにて広報を行った。また、セミナー実施後のアンケートについて、府が作成した質問項目を含めて実施した。										
	②広域連携											
③市町村連携												
④相談相乗												
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	26.0	総支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	100.0%	満足率	96.0%			
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	代表指標	セミナー内容を踏まえた参加者の意識の変化（行動意欲が向上した人の割合）									
		数値目標	80%	実績数値	94.1%	目標達成度	117.6%					
	成果の代表事例	若手社員自身のモチベーションの維持が人材定着の重要な課題となる。意欲の変化も満足度も90%以上の結果となり、非常に高い数値となった。										
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度						
実施結果	課題及び次期以降への取組み （実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのかな）	アンケート結果より「仕事の進め方がよくわからない」「自分は頑張っているが成果を認めてもらえない」など仕事に対しての不満を抱えている従業員が多いことが分かる。 次年度のカリキュラムを選定する際に、「意識」を変えることによる成果事例など、仕事に対する不安・課題を解消できるようなカリキュラムを選定する。										

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業										地域活性化事業実績報告書	
八尾商工会議所											
事業名		グローバル人材確保・定着支援事業									
想定する実施期間		2019 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること									
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	人手不足が深刻化している中、特定技能制度の2号の対象分野の追加など政府の外国人労働者の受け入れ拡大の動きもあり、市内事業所においても外国人労働者雇用に関心が高まっている。また、日本に来日する外国人労働者の活用について、異なる経験・価値観・考え方から様々な視点から課題解決に取り組めるという期待もある。しかし、外国人労働者を雇用してみたいと考えるものの、法制度、文化の違いやコミュニケーションなどを高いハードルと感じ、躊躇して雇用まで至らないケースが多く、採用に至ってもなかなか定着につながらないケースも多い。そのため、市内事業所の外国人労働者の積極的な活用を検討できるよう、外国人労働者の採用意欲向上を図り、また定着支援も併せて行い、採用前・採用後における雇用に関するノウハウを修得していただく必要がある。今後、市内事業所が外国人労働者を雇用するにあたって、正しい関連制度の認識を持ち、受け入れ態勢を整備し、外国人労働者が定着し、本来の力を発揮できる環境を整えることを目的に開催する。									
	支援する対象 （業種・事業所数等）	①業種・事業所数 全業種、八尾市内小規模事業所7,630社 ②支援するターゲット 現在外国人労働者を雇用また、今後外国人労働者の雇用を検討している事業所。									
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】2024年8月22日（木）14時00分～ 【事業】外国人材活用セミナー ～外国人材を雇用するポイントと業務効率化を目的とした適正な配置方法～ 【内容】・入管法の改正内容について（2024年6月に改正された最新情報） ・外国人労働者を雇用していく上で欠かせない入管制度の基本 ・外国人労働者の業務分担や適正な配置方法と職場内の意識付けの手法 ・外国人労働者を採用する際のポイントと注意したい就労ビザの事例 ・外国人労働者を雇用し業務効率化に繋がった成功事例 【講師】行政書士法人第一綜合事務所・（公財）八尾市国際交流センター 【参加者数】20社21名 【支援企業数】20.5社 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞									
	①府施策連携	セミナー参加企業を大阪府「持続可能な大阪の成長を支えるダイバーシティ推進事業」に誘導し登録を促した。また、セミナー実行については、大阪府と協議しながら企画運営を行った。大阪府「持続可能な大阪の成長を支えるダイバーシティ推進事業」の事業紹介については、セミナーの中に事業説明時間を設け、メールマガジンにて広報を行った。また、セミナー実施後のアンケートについて、府が作成した質問項目を含めて実施した。									
	②広域連携										
③市町村連携											
④相談相乗											
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	20.5	支援実績率	102.5%	満足率	100.0%		
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	外国人労働者受け入れに伴う自社の職場環境の整備を行う意欲が向上した事業所の割合（％）は、73.1％（15社/20.5社）が意欲向上に繋がったと回答した。 すでに外国人材を雇用しており、セミナーでの内容は自身の把握している内容が正しいかを確認するために参加されたため、学びの場というより復習することが目的であったことが要因であった。 本セミナーに参加し、意欲が向上した15社の参加のように、セミナーを通じて外国人材雇用のメリットや職場環境整備の意欲を高めることができるように継続してセミナーを開催していく。また、すでに外国人材を活用している事業所にとっても学びの場を提供できるよう、最新の入館法の説明や外国人材を雇用した成功事例など、自社の取組みに役立つ情報を提供していく。 ●参加者の声 ・外国人材雇用の取り組み方の事例が分かりやすく、自社でも進めていきたいと思いました。 ・外国人の雇用を行っていますが、雇用管理の部分で効率化できる手法を知れてよかった。									
		代表指標	外国人労働者受け入れに伴う自社の職場環境の整備を行う意欲が向上した事業所の割合（％）								
		数値目標	80%	実績数値	73.1%	目標達成度	91.4%				
	成果の代表事例	2025年4月から外国人材を採用した事業所有。セミナーで学んだ知識を活かして採用が出来た。									
その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）				目標達成度		

実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	外国人雇用を行っている事業所が半数を占めていたが、残りの半数は今から雇用の検討を進める事業所であった。在留資格や入管法の法改正内容などをカリキュラムに加えているが、アンケート結果から「言語、コミュニケーション」を課題と感じていると回答した事業所が複数社あった。「言語、コミュニケーション」の部分の説明はカリキュラムの中でも時間を短くしていたが、一定数課題を感じているのであれば、その部分の割合を増やして、課題解決の一助につなげてもらえるような内容に見直していく必要がある。
------	--	--

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業										地域活性化事業実績報告書	
八尾商工会議所											
事業名		女性従業員活躍推進支援事業									
想定する実施期間		2022 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること									
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	中小企業は、育児や介護との両立支援、テレワークなど柔軟な働き方の促進、女性の健康問題への対応など、女性の定着・活躍推進に必要な就業環境の整備に課題を抱えている。また、令和4年度の就業構造基本調査結果では大阪府の女性の就業率は47都道府県中44位にとどまっており、社内環境の整備を含む働く女性のキャリアアップ支援が必要とされている。									
	支援する対象 （業種・事業所数等）	①業種・事業所数 全業種 八尾市内小規模事業所7,630社 ②支援するターゲット 女性従業員を雇用している・雇用を検討している事業所									
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】2024年7月29日（月）13時00分～14時30分 【事業】女性活躍推進セミナー 【内容】～女性社員の適正な配置による業務効率化とキャリアアップ形成について～ 【女性従業員の定着とキャリアアップ形成】 ・働きやすい職場環境の整備による業務効率化の手法 ・キャリアアップするための組織の構築 ・女性従業員の部下を育成する際のコーチングとカウンセリング ・中小、小規模事業者の取組事例紹介 ・定着を支援する労働法や認定制度 【講師】(株)インスパイアーズ 【参加者数】20社20名 【支援企業数】20社									
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞									
		①府施策連携	大阪府就業促進課女性就業推進グループと連携し、参加企業に対して大阪府の企業向け施策の案内や登録勧奨を行った。大阪府の企業向け施策の事業紹介についてはメールマガジンにて広報を実施。								
		②広域連携									
		③市町村連携									
④相談相乗											
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	20.0	支援実績率	100.0%	満足率	95.0%		
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	【アンケート結果参考】 女性従業員が働きやすい職場環境整備を行う意欲向上の割合は、90%（18社/20社）と非常に高い結果。 ⇒同アンケートで女性の活躍推進の課題について聞いたところ、「ライフステージに合った柔軟な働き方」65%（13社/20社）、同率で「社内の認識、理解が不十分」65%（13社/20社）の回答であったため、今回のセミナーの代表指標である「女性従業員が活躍し、働きやすい環境整備を行う意欲向上割合（%）」が高く、主体的に取組んでもらうよう変化させることができた。 ●参加者の声 ・同じ子育て世代で意識が変わると会社に好影響をもたらすことが理解できたので、是非社内でも取組みたい。 ・「女性活躍推進」という漠然としていたものが明確になり、取組を進めていきたい。									
		代表指標	女性従業員が活躍し、働きやすい環境整備を行う意欲向上割合（%）								
		数値目標	80%	実績数値	90.0%	目標達成度	112.5%				
	成果の代表事例	女性従業員の採用目的が人材不足が影響しているとのことがアンケートで分かった（20社中18社が回答）が、女性従業員の定着に向けた取組みが理解できたとの声が多く（20社中9社が記述式で回答）上がった。									
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	アンケート結果を見ると、キャリアアップより柔軟な働き方に関する取り組み方法に参加者は興味を持っていることが分かった。カリキュラムの構成割合を調整していく必要がある。また、柔軟な働き方の中では上司の理解が得られないなどの理由も挙げられていたため、社内の理解が必要なことも把握できた。セミナー参加者が事業所に持ち帰って職場環境を改善できるような事例などもテキストの中で挙げられたら良いと考える。									

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業										地域活性化事業実績報告書																																									
八尾商工会議所																																																			
事業名		中小企業に対する高齢者雇用サポート事業																																																	
想定する実施期間		2024 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること																																																	
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	「高齢者雇用安定法」の改正により、シニア人材の雇用は後押しされ、2013年の改正では、定年年齢を65歳未満に定めている事業主は、65歳までの定年の引き上げ等の措置を実施するよう規定している。また、2021年の改正では、定年年齢を65歳以上70歳未満に定めている事業主または継続雇用制度を導入している事業主に対し、70歳までの定年の引き上げを講じる等の努力義務が規定された。しかし、シニア人材の雇用にあたってシニア人材の定年後のモチベーションの維持や、評価や報酬の適正化、健康状態への配慮などの懸念点があり、これらを解消し、高齢者社員の定着や雇用促進をサポートする。																																																	
	支援する対象 （業種・事業所数等）	①業種・事業所数 全業種 八尾市内小規模事業所7,630社 ②支援するターゲット 高齢者を雇用している・雇用を検討している事業所																																																	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】2024年7月29日（月）14時30分～16時00分 【事業】シニア人材活用促進セミナー 【内容】～シニア人材の適正な業務分担・配置による業務効率化の手法を学ぶ～ ・高齢労働者を取り巻く環境と法律への対応 ・定年前後から65歳超の高齢者の処遇 ・シニアがモチベーション高く働くために ・中小企業がでできるパートから始める高齢者活用策 ・シニア人材活用で活用できる助成金について ・シルバー人材センター、産業雇用安定センターのサービス紹介 【講師】社会保険労務士事務所 【参加者数】20社20名 【支援企業数】20社 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞ <table><tr><td>①府施策連携</td><td colspan="9">大阪府就業促進課就業支援グループと連携し、参加企業に対して大阪府の企業向け施策の案内や登録勧奨を行った。大阪府の企業向け施策の事業紹介についてはメールマガジンにて広報を実施。</td></tr><tr><td>②広域連携</td><td colspan="9"></td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td colspan="9"></td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td colspan="9"></td></tr></table>										①府施策連携	大阪府就業促進課就業支援グループと連携し、参加企業に対して大阪府の企業向け施策の案内や登録勧奨を行った。大阪府の企業向け施策の事業紹介についてはメールマガジンにて広報を実施。									②広域連携										③市町村連携										④相談相乗									
	①府施策連携	大阪府就業促進課就業支援グループと連携し、参加企業に対して大阪府の企業向け施策の案内や登録勧奨を行った。大阪府の企業向け施策の事業紹介についてはメールマガジンにて広報を実施。																																																	
	②広域連携																																																		
	③市町村連携																																																		
④相談相乗																																																			
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	20.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%																																											
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	高齢者社員が働きやすい環境整備を行う意欲向上割合（％）は85％（17社/20社）と、取り組むための意識の変化をセミナーを通じて促すことができた。 同アンケートでシニア人材を「今後、採用・活用していきたいと考えている」と回答した事業所は81.8％（9社/11社）と非常に高い結果であり、今後もセミナーを通じてシニア人材が働きやすい職場環境の整備の重要性について説明していく必要があることが分かった。 ●参加者の声 ・シニア人材の評価方法について理解することができた。 ・60歳定年後の雇用継続の規則を変更する必要があると感じた。 ・今後、シニアとなる従業員がいるため、シニア人材のモチベーションを上げ、社内での活躍を期待したい。																																																	
		代表指標	高齢者社員が働きやすい環境整備を行う意欲向上割合（％）																																																
		数値目標	80%	実績数値	85.0%	目標達成度	106.3%																																												
	成果の代表事例	シニア人材の課題の中で「優先順位の高い人事課題ではあるが、それほど積極的には取り組んでいない」と回答があったが、本セミナーを受けたことで85%の事業所が環境整備を行う意欲が高まったと回答した。																																																	
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度																																														
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	アンケート結果から参加事業所20社の内、6社から「高い専門性はあるが、モチベーションが低く、停滞している」と回答した事業所があり、シニア人材のモチベーションの維持に課題を感じていることが分かった。2024年度もモチベーションの維持に関してはカリキュラムに組み込んでいたが、2025年はこの構成割合を増やして実施するか講師と協議し進めていく必要がある。																																																	

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書									
八尾商工会議所									
事業名		事業承継支援事業							
想定する実施期間		2022 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	休廃業・解散件数の推移は2020年度49,698件（2013年度34,800件）と増加傾向にあり、休廃業・解散企業経営者平均年齢の推移は2020年度62.2歳（2009年度59.6歳）と高齢化が進んでいる。※中小企業白書・小規模企業白書（2021年版） 中小企業・小規模事業者において経営者の高齢化が進んでいる中、事業承継問題を放置すると、廃業の急増により2025年頃までに約650万人の雇用と約22兆円の国内総生産（GDP）を失う可能性があるため、経営者や後継者候補に対して事業承継への関心を向上させ、事業承継を意識した経営に取り組んでいただく。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	・全業種対象（八尾市内事業所数10,930社）※令和3年経済センサス活動調査より ・事業承継を検討中の事業所（60歳以上の経営者がメイン）							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	■2024年度（令和6年度） ①事業承継セミナー 【開催日時】2024年7月30日（火） 18:30～20:30 【開催場所】八尾商工会議所 3階 中会議室 【内 容】「ここが知りたい！事業承継・M&A」 1）そもそも事業承継って、何から考えればいいの？ 2）M&Aの基礎徹底解説！ 3）事業承継で開ける会社の将来 →親族内承継や従業員承継、M&Aにおける基本的な知識や成功談、注意すべき点について実際に支援した企業の事例を解説いただいた。 【講 師】大阪府事業承継・引継ぎ支援センター 【参加者数】セミナー全体：20社22名 内、小規模事業者数（支援事業所数）：21.0社							
		①府施策連携	大阪府事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、事業承継セミナーを開催することで、問題や課題、取組状況を把握することができ、必要に応じた支援を実施した。【カルテ化：3件】						
		②広域連携							
		③市町村連携							
		④相談相乗	セミナー後の事後フォローとして、事業承継の取組みに着手する事業所に対し、大阪府事業承継・引継ぎ支援センターと連携しながら、個社支援を行った。						
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	140.0%	満足率	90.0%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	・満足率：90%（「満足」「やや満足」の合計） ・理解度：86.4%（「よく理解できた」「やや理解できた」の合計） ・セミナーで得た情報を事業運営に活用できるか： 95.5%（「すぐに活用できる」「将来活用できそう」の合計） ・今後事業承継を意識した経営に取り組む割合： 90.9%（「意欲が強まった」「意欲がやや強まった」の合計） →参加者の満足度・理解度が高いセミナーを提供することができ、事業者の事業承継の意欲を高めることで「事業承継の気付き」の提供を果たせたと考えられる。							
		代表指標	今後、事業承継を意識した経営に取り組む割合						
		数値目標	80%	実績数値	90.0%	目標達成度	112.5%		
	成果の代表事例	親族内承継や従業員承継、M&Aにおける基本的な知識や成功談、取り組みのポイントについての説明があり、参加者より「事業承継について何もわからない中で参加したが、事業計画書を策定することで計画の前進に向けて重要であるとの認識を持つことができた」「事業承継の3つのパターンについて詳しく知ることができてよかった」といった意見があった。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			

実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	<p>本年度の事業にて事業承継を前向きに検討している事業者に対しての知識の提供は一定進んでいると考えている。しかしながら、当所が10月に実施した会員アンケートでは「後継者を決めているが、事業は継続したい」「自分の代で廃業する予定」と回答した会員事業所は合計で198社（回答総数の44.4%）あり、こちらに対してのアプローチを今後は行うべく次期の本事業では「後継者が不在もしくは廃業を検討している事業者」をターゲットとしたセミナーを実施する。</p>
------	--	--

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業

地域活性化事業実績報告書

八尾商工会議所

事業名		事業継続計画（BCP）策定支援事業							
想定する実施期間		2019 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	大規模自然災害や新型コロナウイルス感染拡大など経済活動を停止させるリスクに対して、万が一被災した際の早期復旧に向けた行動計画策定をはじめ、被害を最小限に留める企業防災対策などの知識を習得する必要がある。そこでセミナー開催および個社支援を通じて、BCP策定の重要性・必要性を学び、企業防災対策を含めて事業継続力の強化に繋げる必要がある。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	・市内小規模事業者7,630事業所（全業種） ・BCP策定に関心を持つ小規模事業者。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日 時】2024年8月28日（水） 18時30分～20時30分 【場 所】八尾商工会議所 中会議室 【講 師】ミネルヴァベリタス(株) ・危機に強い企業づくりに役立つBCP策定ノウハウの習得として、BCPの概要をはじめ、大規模自然災害発生時の初動対応、BCP策定時のポイント等について解説。 ・ワークショップとして、八尾市のハザードマップを紹介し、災害リスクを確認。 ・小規模事業者にも取り組みやすい簡易版BCPを策定に参加者全員が取り組まれた。 ・スクリーンに大規模地震での被災画像を写し、参加者同士で初動対応を話し合うことで、災害時対応の意識やBCP策定の重要性について理解を深めた。 ・講師と連携して、参加者アンケートで通常版BCP策定に関心ありと答えた4社へフォロー対応した。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	セミナー当日、大阪府の超簡易版BCP「これだけは！」シートの周知及び策定支援を行った。						
		②広域連携							
		③市町村連携							
④相談相乗	セミナー講師と連携し、BCP策定に関心を示した7社のうち、相談希望の5社を専門相談に繋げ、事後フォローを実施。2025年内の完成を目指し、支援を継続中。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	105.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	【参加者数】20社21名（総支援企業数21社） 【満足率】100% ・机上訓練でスクリーンに大規模自然災害の被災状況を映し、参加者同士で初動対応を意見交換。 ・意見交換後に他社と名刺交換を促したことで異業種交流も図れた。 ・BCPを重点支援事業と位置づけ、BCP策定に向けた施策普及を行った。 ・独自で作成したBCP施策PRチラシ、八尾市防災マップ、大阪府の超簡易版BCP「これだけは！」シートを基本ツールとし、当所経営指導員が日常の巡回および窓口相談支援時に、業種・規模問わずBCPの施策普及を行った。 【参加者アンケート】 ・企業防災の必要性を再認識し、組織体制の検討に繋がる良いキッカケとなった。 ・事業継続計画書策定の関心や知識が高まり、大規模災害への意識の変化に繋がった。 ・事業継続計画（BCP）策定目的や作業の流れを理解でき、次のステップに繋がると思う。							
		代表指標	BCPセミナー当日、簡易版BCPを策定した企業数						
		数値目標	20社	実績数値	20社	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	セミナー参加を通じてBCPの重要度を理解され、うち4社が通常版BCPの策定から完成に向けた意思決定に繋がられた。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	事業継続計画策定支援事業においては、入門編レベルとして大阪府の超簡易版BCP「これだけは！」シートの作成演習は引き続き盛り込む。 さらにBCPの施策PRを行うことでBCPへの関心を高めさせ、BCPの概要および策定の重要性を理解してもらうことで、BCP策定社数の増加に繋げたい。							

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書									
八尾商工会議所									
事業名		脱炭素経営へ向けた取組み支援事業							
想定する実施期間		2023 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	2050年のカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、大企業主導によるサプライチェーン全体での排出量削減への取組みが加速している。 中小企業においてもカーボンニュートラル・脱炭素経営の必要性、具体的な取組事例、補助金制度などを理解し、脱炭素へ向けた取り組みを促進することで脱炭素社会の実現を目指し、大企業との取引機会を確保、資金調達機会の獲得などを図る。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	・市内小規模事業者7,630事業所（全業種） ・管内中小・小規模事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①カーボンニュートラルセミナー【初級編】 【日 時】2024年7月19日（金）13時00分～14時30分 【事業】カーボンニュートラル【初級編】 【テーマ】カーボンニュートラルが業務効率化・コスト削減の一手 【内 容】・カーボンニュートラルが業務効率化・コスト削減に繋がる理由 ・簡単にCO2排出量を見える化できるチェックシート ・中小・小規模事業者が実践している業務効率化、コスト削減に利用できる成果事例 ・CO2排出量の削減計画の作成方法 ・2024年最新の補助金情報と活用方法 【講師】講師：独立行政法人中小企業基盤整備機構 【参加者数】22社24名 【支援企業数】22社 【具体的にカーボンニュートラルに着手した事業所数】7社 ②カーボンニュートラルセミナー【中級編】 【日 時】2024年8月21日（水）14時00分～ 【事業】カーボンニュートラルセミナー【中級編】 ～経営×カーボンニュートラルが企業成長に直結～ 【内 容】・カーボンニュートラルの取り組み方と効果的な取り組み方法 ・なぜカーボンニュートラルが経営改善に繋がるのか ・二酸化炭素排出量を算定する日商チェックシートの活用 ・中小機構が支援する排出量削減の取組方法 ・経営改善に繋がるコスト削減方法 ・脱炭素計画の策定方法（3～5年の長期的な計画策定） 【講師】独立行政法人中小企業基盤整備機構・日本商工会議所 産業政策第二部 【参加者数】13社14名 【支援企業数】13.5社 【具体的にカーボンニュートラルに着手した事業所数】3社							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	脱炭素経営の動向などに関するセミナーや脱炭素を踏まえた新事業展開の成功事例の紹介、国や府の支援策の情報発信などを通じた気づきの支援を実施。						
		②広域連携							
		③市町村連携							
		④相談相乗	セミナー後の事後フォローとして、カーボンニュートラルに取り組む計画策定やCO2排出量の算定など、コスト削減を行うための個別支援を行った。						
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	35.5	支援実績率	118.3%	満足率	100.0%	

事業 全体 の実績／ 目標達成度	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	【指標】脱炭素・カーボンニュートラルへの取り組みを着手した企業数 【実績】初級編：具体的にカーボンニュートラルに着手した事業所数7社 中級編：具体的にカーボンニュートラルに着手した事業所数3社 計10社 【改善点】セミナー終了後初級編では二酸化炭素排出量を算定するCO2チェックシートの活用 に7社促すことができ、中級編では具体的に高効率空調の導入など3社が着手した が、個別相談の依頼がなかったため、2025年度はセミナー後の個別相談を促 し、具体的に着手する件数の増加を目指す。 ●参加者の声【初級編】 ・小規模事業者でも取組める多くの成功事例を紹介してもらい、自社で活用できる取組みから実 践していきたいと思った。 ・カーボンニュートラルの取組みが、経費削減の効果に繋がることが分かり、出来ることから始 めたいと思った。 ●参加者の声【中級編】 ・取組み方法が明確になり、まずは自社の見える化から始めたい。 ・カーボンニュートラルに取り組んでいるつもりだったが、経営のことを考えて取り組んでいな かったため、是非取組みを進めたい。					
		代表指標	脱炭素・カーボンニュートラルへの取り組みを着手した企業数				
		数値目標	10社	実績数値	10社	目標達成度	100.0%
	成果の代表事例	【取組内容】CO2排出量を算定するCO2チェックシートの活用10社（初級編7社、中級編3社） ⇒セミナー・施策普及を実施し2024年度は年間で30社の活用を促進 また、当所で毎月1日に発行している会報誌（約3,550社へ発送）で10社のカーボンニュートラ ルの成功事例を紹介。セミナーで補助金を紹介したことで10社の事業所が高効率空調を導入（補 助金活用） ※補助金の申請要件が高効率空調の更新の場合、既存の空調機と比較してCO2排出量が年間 30%以上削減できるものに限るため、二酸化炭素排出量削減に繋がる。					
その他目標値の実 績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度		
実施結果	課題及び次期 以降への取組み (実績が目標値に達 していない場合は、 その理由や今後どの ようにフォローする のか)	セミナーで取組み方に関して理解してもらった上で実践まで進む事業所が少ない。今回の事 業では、高校率空調の導入などCO2排出量はもちろん、電力使用量の削減からコスト削減に繋 がる取組み（CO2排出量の見える化を実装）を実施した事業所が10社あったが、特に小規模事 業所の動きは鈍い。 2025年度は小規模事業者でも取組めるコスト削減事例なども含めて、実践する事業所数が 増えるようにセミナーカリキュラムを構築していく。					

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績 ／ 達成度 ①	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	15.0	支援企業 数(実績)	22.0	支援 実績率	146.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	<p>カーボンニュートラルの取組方法を理解し、実際に取組みに着手。CO2排出量の算定方法も学 び、具体的に数値として取組み状況を把握できる状態にすることができた。</p> <p>指標 脱炭素・カーボンニュートラルへの取り組みを着手した企業数</p>							
		数値目標	7社	実績数値	7社	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の 実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度			
実績 ／ 達成度 ②	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	15.0	支援企業 数(実績)	13.5	支援 実績率	90.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	<p>カーボンニュートラルの取組方法を見直し、実際に取組みに着手。具体的に取組みを実践し、 数値として削減効果を把握できている状態にすることができた。</p> <p>指標 脱炭素・カーボンニュートラルへの取り組みを着手した企業数</p>							
		数値目標	3社	実績数値	3社	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の 実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度			

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業

地域活性化事業実績報告書

八尾商工会議所

事業名		万博関連事業受注者登録支援事業																																							
想定する実施期間		2023 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪・関西万博の準備、開催にあたっては、博覧会協会・出展者やその受注者からの直接的な需要のほか、国内外の企業関係者や旅行者など間接的な需要を含め様々なビジネスチャンスが創出される。この万博開催の経済効果を府内中小企業に波及させることを目指すため、府内中小企業及びその商品・サービス・技術等を登録し、発注者側に提供するシステムを構築し、登録を推奨する。																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	・業種・事業所数等 ：小規模事業者7,630事業所（全業種）																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>大阪・関西万博の準備、開催にあたっては、博覧会協会、出展者やその受注者からの直接的な需要のほか、国内外の企業関係者や旅行者など間接的な需要を含め様々なビジネスチャンスが創出される。この万博開催の経済効果を府内中小企業に波及させることを目的に、大阪府が運営する受発注マッチング支援サイト「万博商談もずやんモール」の登録を促進する説明会を開催した。</p> <p>●万博関連事業受注者登録システム説明会 「万博商談もずやんモール説明会」 実施時期：2024年7月18日（木）18:00～20:00 講師：大阪府 商工労働部 経営支援課 内 容：万博商談もずやんモールの概要、登録方法 参加者数：22社25名（総支援企業数23.5社） 開催場所：八尾商工会議所 3階 中会議室</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table><tr><td>①府施策連携</td><td colspan="7">万博関連事業受注者登録システムの説明会を開催する際に、説明者（講師）を大阪府と連携し調整を行い、大阪府商工労働部経営支援課から講師派遣をいただいた。</td></tr><tr><td>②広域連携</td><td colspan="7"></td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td colspan="7"></td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td colspan="7">セミナー（説明会）受講者に対し、万博関連事業受注者登録システムへの事業所情報の登録や事業PRを行うための入力方法などの個別支援を行った。</td></tr></table>								①府施策連携	万博関連事業受注者登録システムの説明会を開催する際に、説明者（講師）を大阪府と連携し調整を行い、大阪府商工労働部経営支援課から講師派遣をいただいた。							②広域連携								③市町村連携								④相談相乗	セミナー（説明会）受講者に対し、万博関連事業受注者登録システムへの事業所情報の登録や事業PRを行うための入力方法などの個別支援を行った。						
	①府施策連携	万博関連事業受注者登録システムの説明会を開催する際に、説明者（講師）を大阪府と連携し調整を行い、大阪府商工労働部経営支援課から講師派遣をいただいた。																																							
	②広域連携																																								
③市町村連携																																									
④相談相乗	セミナー（説明会）受講者に対し、万博関連事業受注者登録システムへの事業所情報の登録や事業PRを行うための入力方法などの個別支援を行った。																																								
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	23.5	支援実績率	117.5%	満足率	86.4%																																	
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	・万博関連の受注や発注に関して、管内の小規模事業者の関心があることがわかった。 ・説明会の中で、実際に登録を行う実践方式で行ったことで、参加事業所が登録を行えたことがよかったとの声があった。 ・万博関連の受注に関して、小規模事業者の期待感が高く、当サイトへの登録推進を事後フォローを通じて行い、5社から積極的に登録を行うとの声をいただいた。																																							
	代表指標	「万博関連事業受注者登録システム」の活用法やメリットについての理解度																																							
	数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%																																			
	成果の代表事例	・当説明会に参加した23.5社（総支援企業数）のうち、実施後のアンケートで5社が登録を行うと回答した。また、全体の理解度も100%であり、当サイトの理解度も高かったことが伺える。 ・個別支援では、上記の22社を対象に個別支援としてアプローチを行い、5社に対して、具体的な登録方法などの支援を行った。																																							
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度																																			
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	・2025年大阪関西万博に関連した事業であり、関心は高いが、管内の小規模事業者に万博関連に受注が増加する傾向は薄く、セミナー参加者数は伸び悩んでいる。 ・満足率は86.4%であり、万博商談もずやんモールへの期待感とはべつに、小規模事業者が受注する確率などの説明がなかったことで、現実感がないとの声もあった。 ・現在、大阪商工会議所が運用する「ザ・ビジネスモール」と重複する部分があり、万博に特化した取引支援サイトの必要性を詳しく説明する必要がある。 ・説明会の中で、実際に登録を行う実践方式で行ったことで、参加事業所が登録を行えたことがよかったとの声があった。																																							

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業										地域活性化事業実績報告書		
八尾商工会議所												
事業名		求人確保支援事業										
想定する実施期間		1999 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること										
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	●市内事業所の人材不足を解消すべく、また時間的、費用的にも効率よく人材を確保できるように若年者から中高年齢者まで幅広い世代の面接ができる場を設ける。 ●人材を早急に確保したい事業所に対応できるよう、年間を通して定期的に5回面接会を開催し、人材不足にお困りの事業所のサポートをおこなう。 ●市内事業所と働く意欲のある求職者のマッチング機会を設けることで、企業の人材獲得はもとより、地域の雇用促進をはかる。										
	支援する対象 （業種・事業所数等）	①業種・事業所数等 7, 630事業所（全業種） ②主なターゲット 八尾市内の従業員の採用を考えている事業所										
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	無料職業紹介所の登録企業より参加いただき、八尾市内の求職者を中心に実施。 ■会社説明会・就職面接会（会場：八尾商工会議所） 卒業予定の学生及び新卒者、障がい者・中高年齢層も含めた幅広い層の求職者を対象に、八尾市内で積極的に求人を募集している事業所による合同会社説明会・面接会を開催。求人事業所ごとに個別ブースを設け、求職者は求人票の希望条件から面談したい事業所を選択してもらい、順番に個別面談を行った。 〔会社説明会・面接会〕 2024年 6月 7日（金）事業所数19社 来場者116名 面接者延べ104名 採用4社4名 2024年 9月 6日（金）事業所数20社 来場者 63名 面接者延べ 67名 採用1社1名 2024年12月 6日（金）事業所数20社 来場者 71名 面接者延べ 64名 採用5社5名 2025年 3月 7日（金）事業所数19社 来場者 61名 面接者延べ 54名 採用4社4名 年間累計 事業所数78社（内重複17社のため61社）、来場者数311名、 面接者延べ289名、採用者数14社14名 〔就職フェアやお・かしわら2024〕 2025年1月30日（木） 参加事業所6社 来場者51名 面接者延べ53名 採用1社2名 HW相談コーナー/大阪府労働相談コーナー設置 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞ ①府施策連携 大阪府商工労働部雇用推進室就業促進課と協力し、就職フェアやお・かしわらの当日、自分診断の活用チラシを求職者に対しPRを実施。 ②広域連携 ③市町村連携 布施公共職業安定所、八尾市との共同開催で実施。 ④相談相乗										
	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	62.0	総支援企業数(実績)	67.0	支援実績率	108.1%	満足率	100.0%			
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	代表指標	参加求人事業所と求職者とのマッチング数									
		数値目標	5社	実績数値	15社	目標達成度	300.0%					
成果の代表事例	【アンケートより抜粋】 ・初めて参加したが、求職者と一度に話が出来る良い機会であった。 ・運営側のサポートもあり、マッチングの確率が上がるのではと感じた。 ・久しぶりに参加したが面接に繋がった。これを機に次回も継続して参加したい。											
その他目標値の実績	目標値(計画)	190	目標値(実績)	362	目標達成度	190.5%						
	【就職フェア来場者】 40名の来場者目標であったが、実来場者数は51名と目標を上回る結果となった。 【会社説明会・面接会来場者】 6・9・12・3月の来場者数が311名と大幅に上回る結果となった。											
その他目標値の実績	目標値(計画)	15	目標値(実績)	21	目標達成度	140.0%						
	2024年度の八尾市無料職業紹介所の新規求人登録事業所数は21社。											
実施結果	課題及び次期以降への取組み （実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	2024年度は、広域連携である就職フェアにおいて、シニア人材の求職者に焦点をあてたことで参加事業所数は6社と減少。しかし、来場者数は51名と前年と同推移の結果となった。単独事業である会社説明会・面接会においては、来場者数は目標の2倍以上の成果がでており、ニーズがあることが結果として分かった。2025年度は、数値目標など一部変更はあるものの、継続して実施をしていく。										

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書			
八尾商工会議所			
事業名		ビジネスチャンス発掘フェア2024	
想定する実施期間		2011 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>高度な技術力、優れた製品を有しながら知名度が低く、販売拡大に繋がらない中小・小規模事業者は多くあるため、これら中小・小規模事業者の技術・製品・サービスを効果的かつ幅広く情報発信し、ビジネスマッチングに繋げる。</p> <p>出展者や来場企業との商談・交流の機会を促進することで、販路拡大の機会を創出するとともに、全国でも有数の工業集積を誇る大阪地域の産業を広くPRする。</p>	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>・業種・事業所数等 : 小規模事業37,933事業所（全業種）※広域連携分を含む</p> <p>・主なターゲット : 販路拡大に課題を持つ中小事業者のうち、主に製造業</p>	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>■会 期：2024年11月27日（水）10時～17時 28日（木）10時～16時</p> <p>■会 場：マイドームおおさか 2階3階展示場</p> <p>■出展者数：187社・団体、196.5小間（うち大阪府内企業：155社）</p> <p>■引合件数：13,415件（全体）</p> <p>■来場者数：5,741名</p> <p>■新製品関連のプレゼンテーション及び特設展示 出展者によるプレゼンテーション：16社 新製品関連の特設展示：21社</p> <p>■出展者説明会及びセミナー 開催日：10月3日（木）～10月11日（金）計4日間 場所：八尾商工会議所他 計5会場 内容：開催概要、搬入・搬出、展示に関する説明 出展者セミナー：『出展成果を最大にするために自社がやるべきこと』 ※講師：(株)フジヤ ビジネスセミナー ※著名人を招聘し、ビジネスセミナーを実施。</p> <p>①開催日：11月27日（水） 講 師：信州大学社会基盤研究所特任教授 テーマ：世界の潮流・日本の現状</p> <p>②開催日：11月28日（木） 講 師：(株)講談社 「現代ビジネス」編集次長、明治大学 国際日本学部講師 （東アジア国際関係論） テーマ：米大統領選後の米中関係と日本への影響</p> <p>①②延べ参加社数：264社</p>	
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞	
		①府施策連携	
		②広域連携	出展者募集および来場者周知について、各連携先の商工会議所等の機関紙同封等を通じて進めた。会期中の運営についても各連携先の商工会議所等から当日スタッフとして対応いただき、協力して運営を行った。
		③市町村連携	当日運営における当日スタッフ対応をはじめ、来場者周知で連携を図った。
		④相談相乗	

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	141.0	総支援企業数(実績)	155.0	支援実績率	109.9%	満足率	86.4%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	大阪府内のものでづくり企業が中心に集まり、ブース毎に自社技術・製品等を展示し、出展者同士や来場者へのPRや商談が活発に行われた。 出展者アンケートより、名刺交換等を含む引合件数は前回から微減であったが、商談成立額は前回を上回る結果となり、出展者同士や来場者との間で中身の濃い話が行われたことが分かる。 回答者の約88%が出展目的に対して一定の成果を得られたと回答され、その中で出展成果があった割合は前回比で約3%増加、大いに満足と回答された割合も前回比で約4%増加するなど、販路開拓や製品・技術、サービスの認知度向上が図れた等の成果に繋がっていることが分かる。 次に、出展者同士の名刺交換サポートを実施し、16社（前回：20社）から出展者同士の面談希望の申し出を受け、会期中に経営指導員がコーディネートを通じて延べ34社（前回：45社）の名刺交換サポートを行い、ビジネスマッチング機会の創出に寄与した。 次に、出展者の新製品関連の情報発信支援として、新製品等をテーマとしたプレゼンテーションイベントおよび特設展示を実施し、プレゼンテーションは16社（前回：14社）、特設展示は21社（前回：20社）が参加され、ビジネスマッチングの機会創出へ寄与した。							
		「出展者アンケートより（一部抜粋）」 ・満足度で「大いに満足」と回答：19.0%(前年比+5.3%) ・出展後の自社の変化として、販路拡大への意欲が増した：22.1%(前年比△4.4%) ・出展後の自社の変化として、知名度やイメージ、信頼度が向上した：30.1%(前年比+5.2%) ・新製品を展示した：27.5%(前年比△4.7%)							
		代表指標	名刺交換をはじめ、商談、紹介等の引合件数						
		数値目標	10,857	実績数値	10,465	目標達成度	96.4%		
	成果の代表事例	・出展者アンケートより、約2200万円の商談成立に繋がったと報告があった。※化学薬品製造販売 ・展示会出展未経験の小規模事業者（樹脂製品製造）について、過去事例や出展前の事前準備、ディスプレイ方法、会期中の営業手法、事後フォロー方法などアドバイスした結果、約200万円の商談成立に繋がった。							
その他目標値の実績	目標値（計画）	210	目標値（実績）	241.5	目標達成度	115.0%			
	【ビジネスセミナー参加企業数】 会期中の2日間において、上記著名人を招聘しビジネスセミナーを開催。 2日間で延べ264名が来場され、経営判断の参考としての情報提供が行えた。 また聴講者が展示場へ足を運ばれたことで、出展者との名刺交換の機会創出にも寄与した。								
その他目標値の実績	目標値（計画）	40	目標値（実績）	32	目標達成度	80.0%			
	【出展者同士の交流支援社数（名刺交換）】 「ビジネスマッチングシート」として情報提供し、出展者同士の名刺交換サポートを実施。出展者同士の積極的な交流の仕掛けとして、全出展者へ会期中に面談したい相手先出展者を予めヒアリングし、16社から出展者同士の面談希望の申し出を受けた。会期中に経営指導員がコーディネートを行い、延べ34社の名刺交換サポートを行い、ビジネスマッチング機会の創出に寄与した。								
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	来場者アンケートの結果より、来場目的に対する成果は前回比で横ばいだが、情報収集、受注先や発注先の開拓、技術等の提携先、自社技術サービスの提案等などの声を頂くなど、回答者の約82%が一定の成果を得られていることが分かり、来場者が寄せる本フェアへの満足度は高いことが感じられる。 出展者アンケートの結果より、名刺交換等を含む引合件数は前回から微減であったが、商談成立額は前回を上回る結果となり、出展者同士や来場者との間で、中身の濃い話が行われたことが分かる。回答者の約88%が出展目的に対して一定の成果を得られたと回答され、その中で出展成果があった割合は前回比で約8%増加、大いに満足と回答された割合も前回比で約5%増加するなど、販路開拓や製品・技術、サービスの認知度向上が図れた等の成果に繋がっていることが分かる。 会期中の名刺交換数が10件未満の出展者も見受けられたので、展示商談会に不慣れな出展者のサポートが重要。引き続き経営指導員の名刺交換サポートのコーディネート支援や、専門家と連携して営業力強化の支援を通じて、事前準備（展示物、キャッチコピー、展示装飾）、当日の営業対応方法、会期後の事後フォローを体系的に習得いただき、出展者の成果向上に繋げる。							